PlayBackMail Online
シングルサインオンオプション 設定手順書
（Google Workspace 版）

SCSK Minoriソリューションズ株式会社

ご注意

[目次]

更新履歴

項番	更新日	更新内容および主旨	更新範囲
1.0	2025/10/22	新規作成	すべて

[はじめに]

本書は、SCSK Minori ソリューションズ株式会社が提供する電子メール誤送信防止サービス「PlayBackMail Online」を、Google Workspace の IdP におけるサインオンを通じて、シングルサインオンで利用するための手順について説明したものです。

[本ドキュメントの対象]

本書の対象読者は、Google Workspace の IdP 、および PlayBackMail Online を利用した電子メール送信システムの管理者となります。

[用語説明]

本書に記述のシングルサインオン用の用語を下記に説明します。

用語	説明
SAML	Security Assertion Markup Language の略で、主にシングルサインオンや ID 連携で利用されているマークアップ言語です。 PlayBackMail Online では、シングルサインオンに SAML 2.0 を使用しています。
IdP	アイデンティティ プロバイダの英略で、ID 情報の管理を行い、連携アプリケーションに認証サービスを提供します。（シングルサインオン時の役目として、ユーザーの認証は IdP で行います。） ID 情報の管理を行うクラウドサービス全体を称して IDaaS と呼び、Azure Active Directory や Okta、OneLogin 等が IDaaS のサービスを提供しています。
SP	サービス プロバイダの英略で、利用者が実際に使用するオンラインサービスを提供します。 シングルサインオンでの SAML 認証時は、ユーザーの認証を IdP に委任し、PlayBackMail Online がこの SP に該当します。

1. シングルサインオン利用の前提条件

お客様が下記の要件をすべて満たしていることが、PlayBackMail Online をシングルサインオンでご利用いただくための前提条件となります。

内容をご確認いただき、要件を満たしていない場合は事前にご準備ください。

- PlayBackMail Online を利用している（もしくは利用を開始する）。
- PlayBackMail Online シングルサインオンオプションをご契約いただている。
- Google Workspace の IdP を利用し、ログインできるユーザーを登録している。
- IdP に SAML 認証アプリケーションを登録することができる。
- IdP に登録した SAML 認証アプリケーションの情報（シングルサインオンに必要な IdP の設定情報）を弊社にご提供いただける。

2. シングルサインオン利用までの流れ

PlayBackMail Online をシングルサインオンでご利用になるためにお客様にて行っていただく作業の流れをご説明します。

PlayBackMail Online をシングルサインオンでご利用になるためには、下表のデータが必要となります。

背景色が  のデータは、弊社からご提供するデータです。

背景色が  のデータは、お客様からご提供いただくデータです。

データ名	説明
SP のエンティティ ID	データの内容は弊社からお客様にご提供します。 IdP に SAML 認証アプリケーションを作成する際に、このデータを（IdP に）登録していただきます。
SP の応答 URL	同上
IdP のログイン URL	IdP に SAML 認証アプリケーションを作成する際に IdP が自動で作成します。 このデータを弊社にご提供いただきます。
IdP のエンティティ ID	同上
IdP の証明書	同上

表 1 シングルサインオンに必要なデータ

これらのデータは、下図の流れで登録を行っていただきます。

また、IdP の設定情報を弊社に連携していただきます。

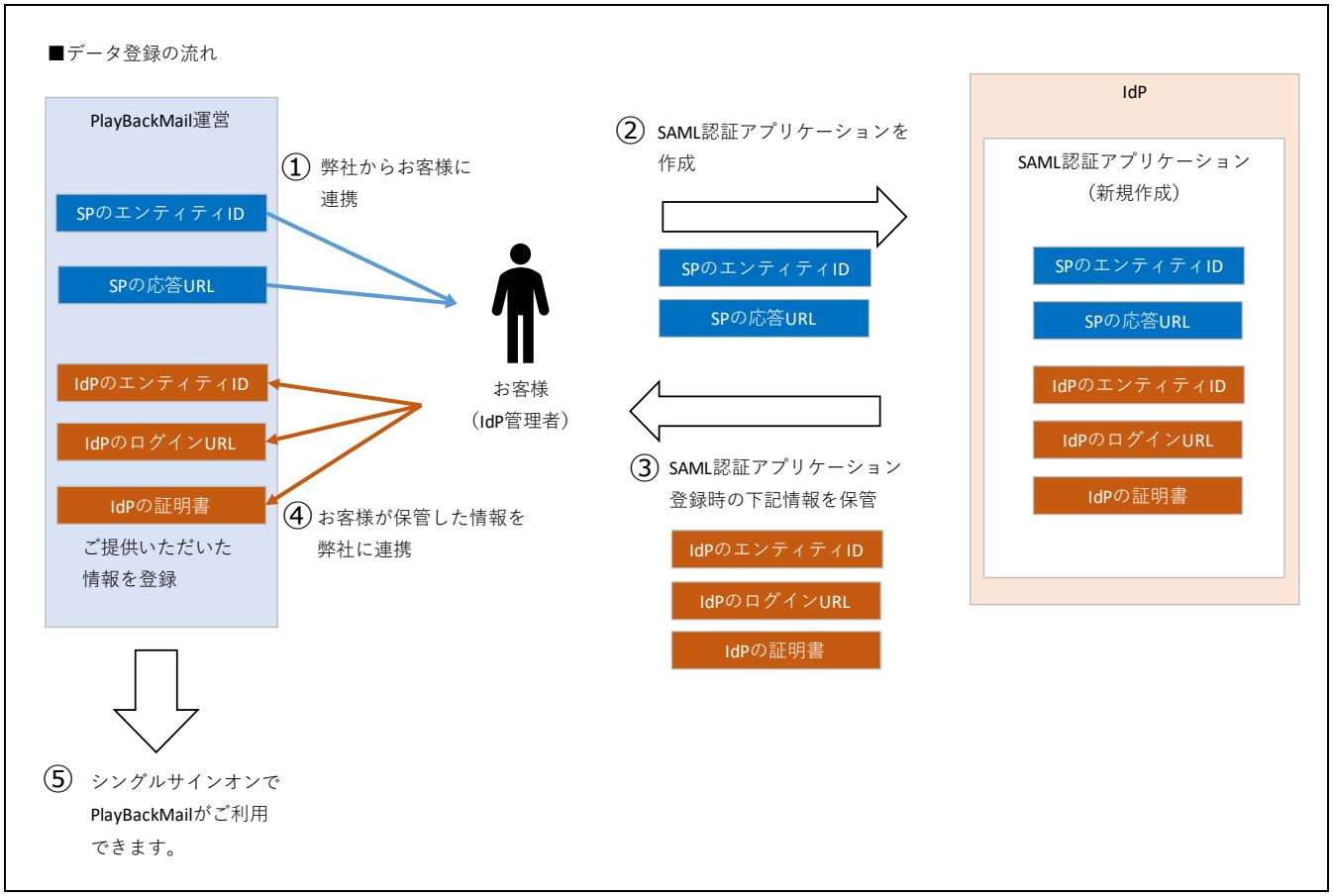


図 1 データ登録の流れ

3. 設定情報のやり取り

3.1. 弊社からご提供する情報

弊社より IdP に登録するための下記データを、メールでご提供いたします。

このデータは次章でご説明する手順に従って、IdP に登録していただきます。

	項目	説明
1.	SP のエンティティ ID	SAML 認証を行う際の PlayBackMail Online の識別子です。
2.	応答 URL	IdP がユーザーを認証した結果を SP に送信する際の送信先となる URL です。

表 2 弊社からご提供する情報

3.2. お客様からご提供いただく情報

登録した SAML 認証アプリケーションの下記情報を、次章でご説明する手順に従って保存していただきます。

保存した情報は、メールにて弊社にご提供ください。

	項目	説明
1.	IdP のログイン URL	PlayBackMail Online から IdP に対してユーザーの認証依頼を行う URL です。
2.	IdP のエンティティ ID	SAML 認証を行う際に IdP を識別する識別子です。
3.	IdP の証明書	Base64 形式の証明書を保存していただきます。

表 3 お客様からご提供いただく情報

4. IdP 設定（Google Workspace 編）

弊社から Goggle Workspace に登録するデータをメールでご提供します。
受領されたら、シングルサインオンに必要な設定を、お客様にて行っていただきます。
本項では、Google Workspace での具体的な設定手順について説明します。

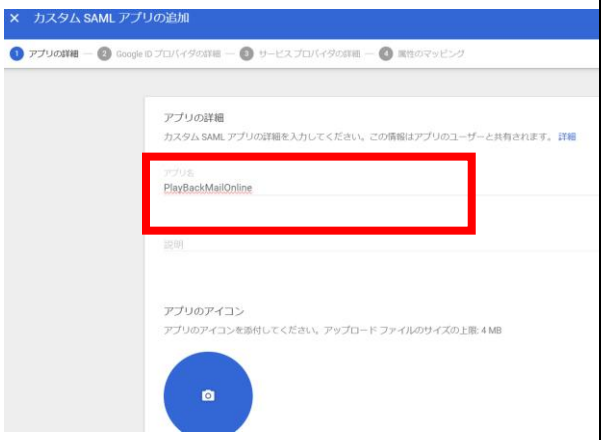
4.1. カスタム SAML アプリケーションの登録

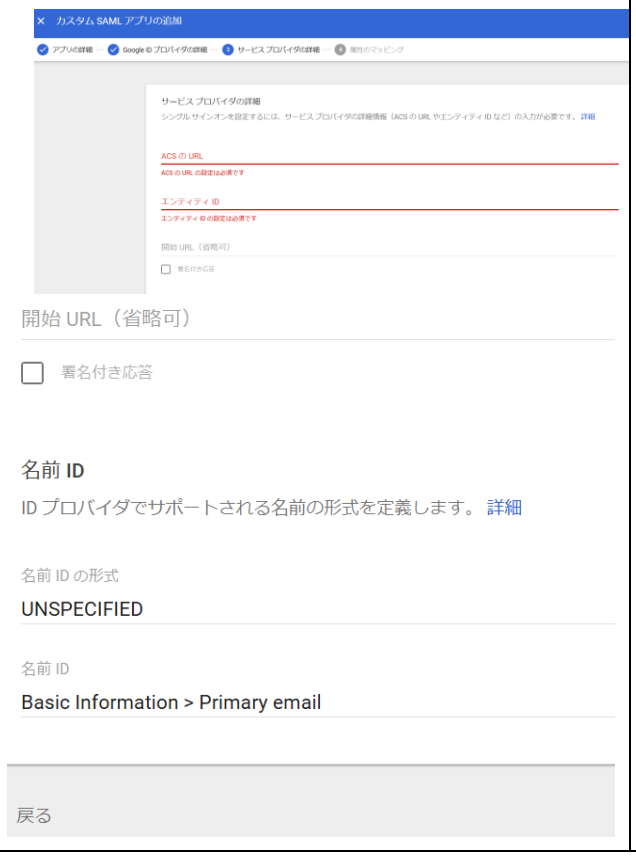
以下の手順にてカスタム SAML アプリを登録してください。

4.1.1. カスタム SAML アプリケーションの新規作成

	図表、コード例	説明
1.		Google 管理コンソールのサインイン画面より、管理者アカウントにてサインインします。

2.		Google Workspace 管理コンソールを開き、左側リストから「アプリ」、「ウェブアプリとモバイルアプリ」を選択します。

3.		アプリケーションが一覧表示されている上部にある「アプリを追加」、「カスタム SAML アプリの追加」を選択します。
4.		カスタム SAML アプリの追加画面で、「①アプリの詳細」から設定します。 【入力内容】 ● 「アプリ名」 →任意のアプリケーション名 （PlayBackMail Online であることが分かりやすい名前にしてください。） ● 「説明」 →任意入力（省略可） ● 「アプリのアイコン」 →任意設定（省略可） 上記設定完了後「続行」を押します。

5.		「②Google ID プロバイダーの詳細」 ● 自動生成された「SSO の URL」、「エンティティ ID」、「証明書」、「SHA－256 フィンガープリント」情報のメタデータをダウンロード、またはそれぞれコピーしてから保管してください。 上記実施完了後「続行」を押します。
6.		「③サービス　プロバイダの詳細」 【入力内容】 ※　弊社からお送りした情報を入力して下さい。 ● ACS の URL 「ACS URL」を入力して下さい。 ● エンティティ ID 「エンティティ ID」を入力して下さい。 ● 開始 URL 入力なし ● 名前 ID 変更なし 上記設定完了後「続行」を押します。

7.		「④属性のマッピング」 設定変更なし、そのまま「完了」を押します。

4.2. 弊社への情報連携

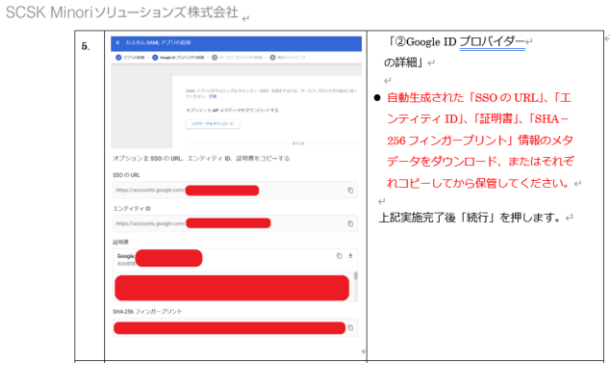
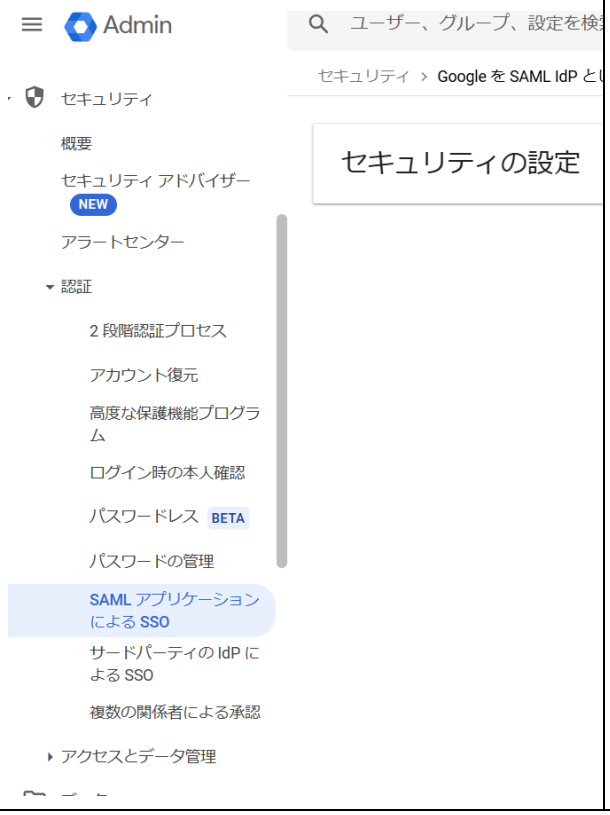
エンタープライズ アプリケーションの情報を弊社にメールで連携していただきます。

連携していただいた情報は、PlayBackMail Online でシングルサインオンを行えるよう、弊社で設定を行います。

設定が完了しましたら、メールにてご連絡いたしますので、お待ちください。

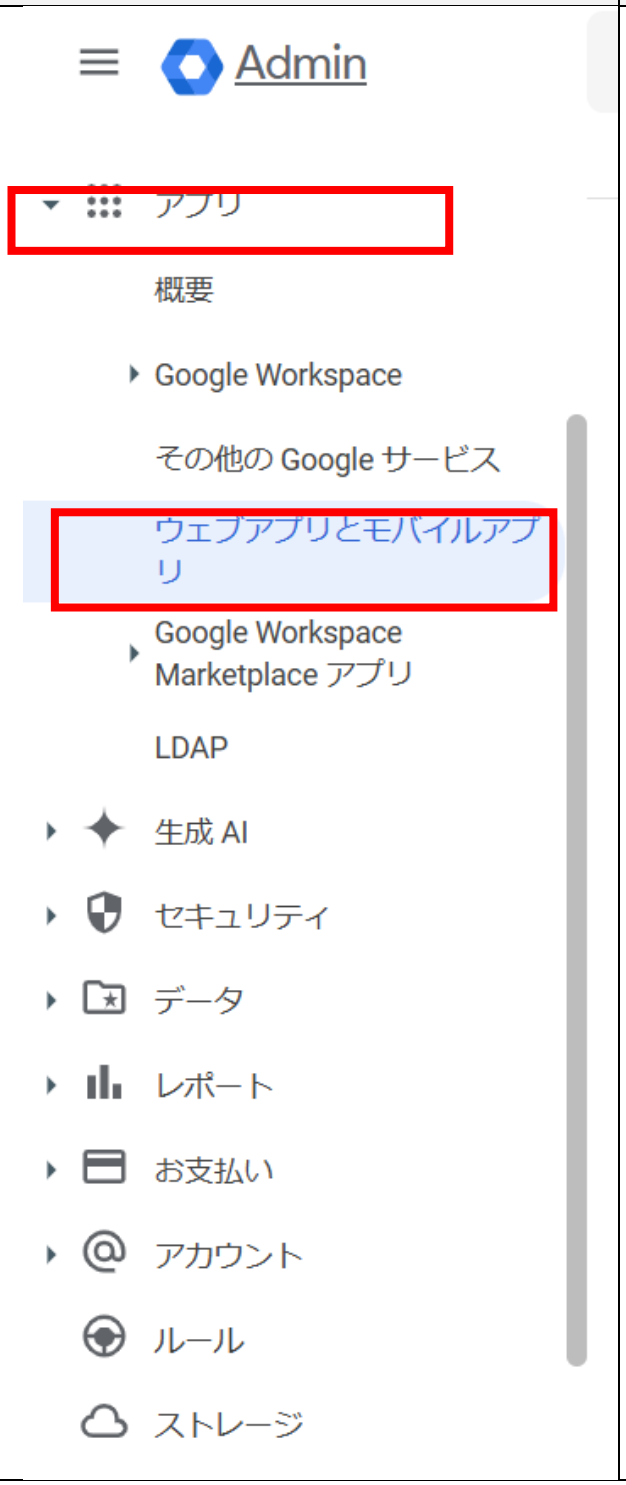
※PlayBackMail Online に必要な情報を設定しないと、シングルサインオンでのご利用ができません。

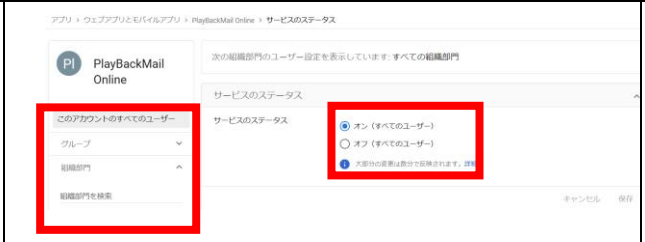
4.2.1. カスタム SAML アプリの情報を連携

	図表、コード例	説明
1.		カスタム SAML アプリ新規作成時（4.1.1 のステップ 5）保管された情報をメールに添付して、弊社まで送付ください。
2.		カスタム SAML アプリ新規作成時情報が保存されなかった場合、左側リストから「セキュリティ」、「認証」、「SAML アプリケーションによる SSO」を選択、情報が取得できます。

4.3. カスタム SAML アプリのユーザーへの割り当て

登録したカスタム SAML アプリに PlayBackMail Online を利用するユーザーを割り当て、ユーザーがシングルサインオンで利用できるようにします。

	図表、コード例	説明
1.		Google Workspace 管理コンソールを開き、左側リストから「アプリ」、「ウェブアプリとモバイルアプリ」を選択します。

2.		アプリケーションが一覧表示された中から、『4.1 カスタム SAML アプリケーションの登録』で登録したアプリケーションを選択します。
3.		カスタム SAML アプリの概要画面で、「ユーザーアクセス」をクリックします。
4.		ユーザーやグループの割り当ては「サービスのステータス」画面で行います。 左側のグループを選択し、右側の「オン」、「オフ」選択肢で各グループのユーザーアクセス権限が編集できます。 【割り当て例】 「協力会社」グループ：オン（すべてのユーザー） 「社員」グループ：オフ（すべてのユーザー）

5. シングルサインオンご利用の開始

5.1. PlayBackMail Online の準備完了通知

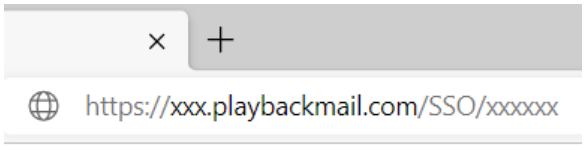
弊社にご提供いただいた IdP の設定情報を、PlayBackMail Online に登録し、シングルサインオンご利用の準備が完了しましたら、メールにて通知をお送りします。

通知の中で、シングルサインオンでご利用になる際にアクセスする URL もお伝えします。

この URL にアクセスしていただき、次項の動作確認を行っていただきます。

5.2. 動作確認

弊社からお送りした準備完了通知の中にある URL にアクセスしていただき、実際にシングルサインオンで PlayBackMail Online が利用できることを確認していただきます。

	図表、コード例	説明
1.		準備完了通知の中にある URL にブラウザでアクセスしてください。
2.		ブラウザでアクセスした際に、既に IdP にサインイン済みの場合は、この画面を経由せずに、4 の PlayBackMail Online 画面に直接移動します。 IdP にサインインしていない場合は、このサインイン画面を経由しますので、IdP のサインイン画面が表示されていることを確認してください。 （画像は Google のサインイン画面です。）
3.		IdP に登録済みの、PlayBackMail Online のユーザーでサインインします。

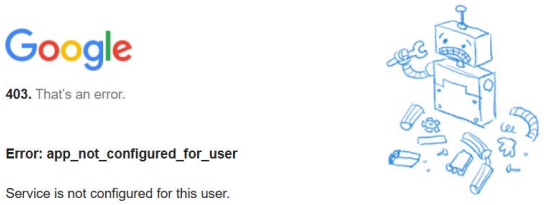
4.		PlayBackMail Online の待機中メール一覧画面が表示されることを確認してください。

■シングルサインオンできない場合

動作確認で上記の画面遷移を行わずにエラーが発生する結果となった場合は、そのケースに応じて下記をご確認ください。

ケース 1

IdP のエラー画面が表示された。（画像は google のエラー画面です。）



このケースでは、下記のどちらにも、エラーの原因がある可能性があります。

・SAML 認証アプリケーションの設定内容

・PlayBackMail Online に登録した IdP の設定情報

まず、SAML 認証アプリケーションの下記設定をご確認いただき、設定内容に誤りがあれば修正してください。

- SP のエンティティ ID
  →『**エラー! 参照元が見つかりません。**カスタム SAML アプリの情報を連携』を参照ください。
- 応答 URL
  →『**エラー! 参照元が見つかりません。**カスタム SAML アプリの情報を連携』を参照ください。
- ユーザーの割り当て
  →『4.3 カスタム SAML アプリのユーザーへの割り当て』を参照ください。

これらの設定内容に誤りがない場合、お手数をおかけして申し訳ございませんが、弊社にご提供いただいた下記の情報を保存していただき、再度弊社までご提供ください。

- IdP のログイン URL
- IdP のエンティティ ID
  →『**エラー! 参照元が見つかりません。**カスタム SAML アプリの情報を連携』を参照ください。

ケース 2

IdP でのサインイン後、PlayBackMail Online のログイン画面が表示され、下部にエラーが表示されている。

IdPでの認証に失敗しました。 Invalid issuer in the Assertion/Response. Was 'https://sts.windows.net/6a6b7f2e-81cc-4571-9f59-1621b0196eab/', but expected 'sts.windows.ne
1621b0196eab/'
管理者にご連絡ください。
Authentication in IdP failed. Invalid issuer in the Assertion/Response. Was 'https://sts.windows.net/6a6b7f2e-81cc-4571-9f59-1621b0196eab/', but expected 'sts.windows.net/
1621b0196eab/'
Please contact the administrator.

このケースでは、PlayBackMail Online に登録した IdP の設定情報に原因があると思われます。

お手数をおかけして申し訳ございませんが、弊社にご提供いただいた下記の情報を保存していただき、再度弊社までご提供ください。

- IdP のエンティティ ID

- IdP の証明書

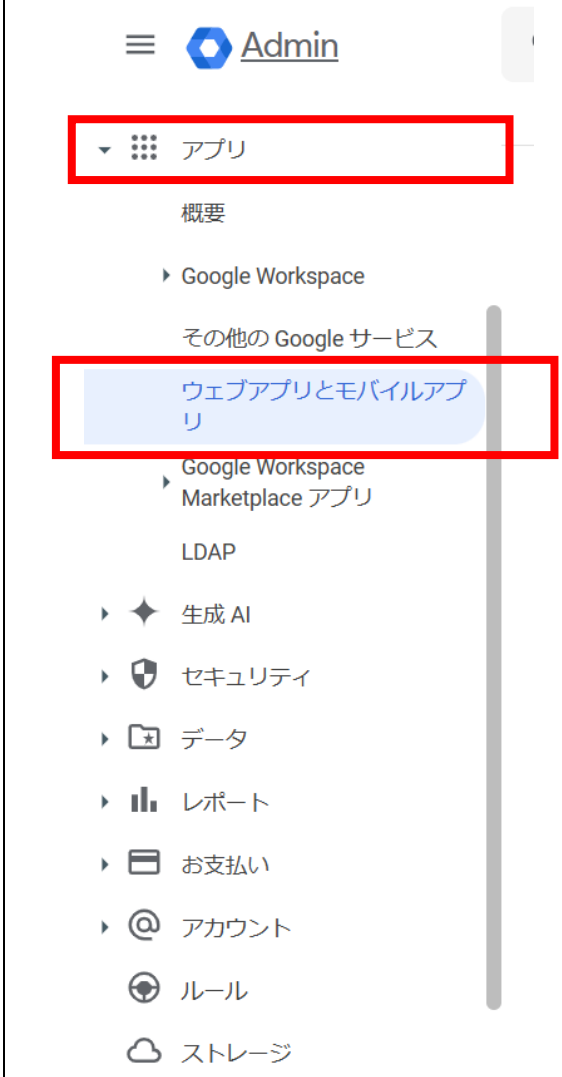
  →『**エラー! 参照元が見つかりません。**カスタム SAML アプリの情報を連携』を参照ください。

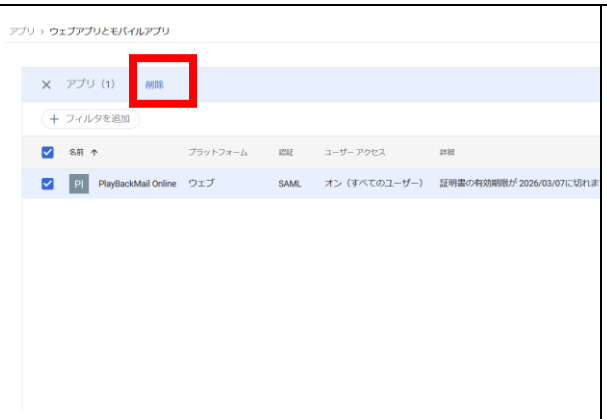
6. ご契約を終了する場合（Google Workspace 編）

PlayBackMail Online のご契約を終了した後は、シングルサインオンを行うために登録したカスタム SAML アプリは不要となります。

登録したカスタム SAML アプリの削除を行いたい場合の削除手順を説明します。

6.1. カスタム SAML アプリの削除

	図表、コード例	説明
1.		Google Workspace 管理コンソールを開き、左側リストから「アプリ」、「ウェブアプリとモバイルアプリ」を選択します。

2.		アプリケーションが一覧表示された中から、『4.1 カスタム SAML アプリケーションの登録』で登録したアプリケーションを選択します。 画面上部の「削除」をクリックします。
3.		確認メッセージで「削除」を選択します。 これで、カスタム SAML アプリが削除されます。

PlayBackMail Online

シングルサインオンオプション設定手順書

発行所　SCSK Minori ソリューションズ株式会社
135-0061
東京都江東区豊洲 3-2-20 豊洲フロント